

九州工業大学基金のご報告

学長挨拶



本学では、100周年記念事業を継承する形で、学生の修学支援や課外活動支援、また留学生支援など、各種の支援事業に取り組むべく、2016年6月から「九州工業大学基金」を立ち上げました。

2018年度は、14,928,205円（個人204名、35法人、6団体）ものご浄財を賜り、同年度から創設しました九工大サポート会員（個人）には86名、九工大サポート企業会員には29法人からのご支援をいただきました。

賜りました浄財は、下記のとおり、学生サークルへの支援、学生プロジェクトへの支援、留学生交流事業（留学生歓送迎会、留学生会活動支援、留学生フェスティバル出店支援、国際友好の夕べ）、留学生奨学金、博士後期課程社会人支援、授業料支援に活用いたしました。

皆様方からの温かいご支援に、あらためて心より厚く御礼申し上げます。

資源のない我が国にとって人材こそが宝です。この人材を育成するのが大学の使命です。昨今、国立大学を取り巻く環境は厳しく、国からの予算も削減されていますが、日々、経営努力を怠らず、今後も質の高い教育、卓越した研究活動に取り組んで参ります。

つきましては、世界で通用する高度技術者育成のために、各種の支援をはじめ、学生には、自ら学び自ら考える研鑽の機会を与えていきたい、立ち上げました「九州工業大学基金」にご理解、ご賛同いただき、引き続きご支援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

国立大学法人 九州工業大学 学長 **尾家 祐二**

2018年度 収支状況

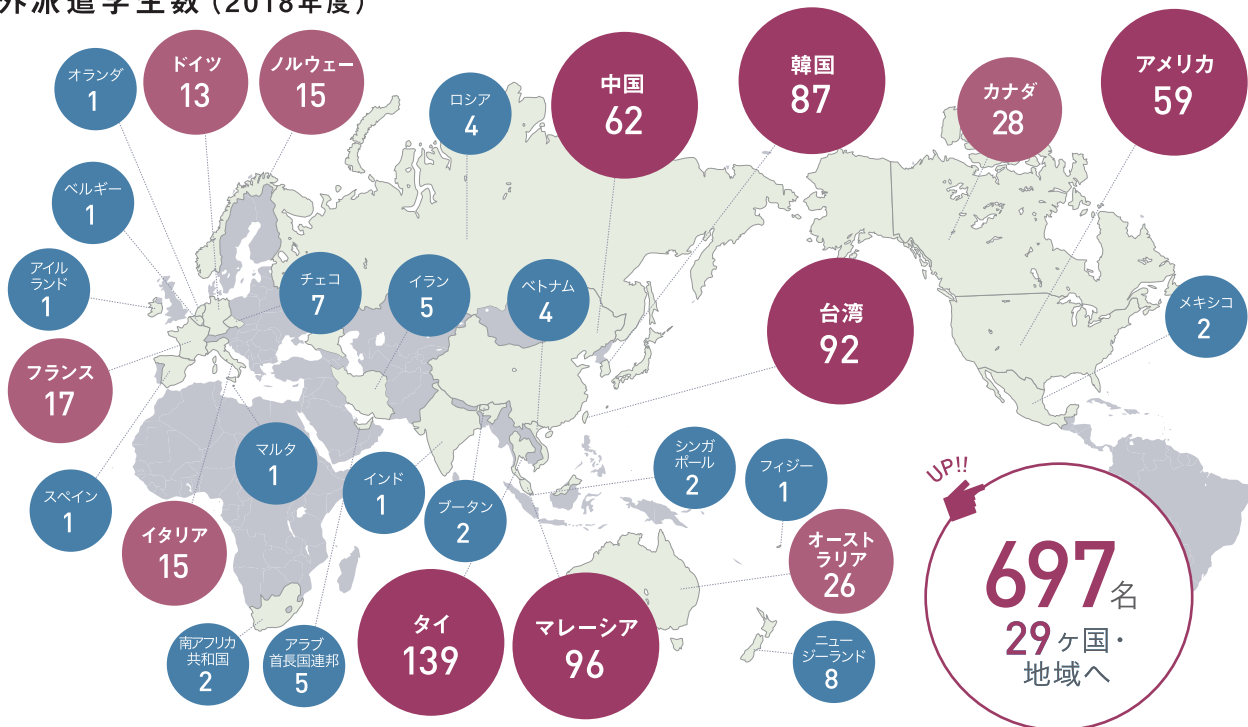
(単位:円)

収 入		支 出	
一般資金		一般資金	
前年度からの繰越	224,541,408	学生サークルへの支援	647,000
一般資金	13,227,205	学生プロジェクト支援	3,000,000
一般資金（留学生交流事業限定）	360,000	留学生交流事業	634,545
		留学生奨学金	7,560,000
		博士後期課程社会人支援	564,000
		事務運営費（ホームページ、パンフレット等）	2,431,096
		事業計	14,836,641
		次年度への繰越	223,291,972
		特定資金	
		授業料支援	267,900
		事業計	267,900
		次年度への繰越	4,854,300
		合計	243,250,813
寄附金額計	13,587,205		
小 計	238,128,613		
特定資金			
前年度からの繰越	3,781,200		
修学支援事業	1,341,000		
寄附金額計	1,341,000		
小 計	5,122,200		
合計	243,250,813		

学生海外派遣支援

本学では、グローバル化した社会の中で高い知識と技術力を発揮できるエンジニアを養成するため、専門分野の学習や研究活動を行うプログラム、海外で実施される競技会へ参加するものなど、様々な海外派遣プログラムを実施し、継続して支援しております。その結果、学生の海外派遣数は年々増加し、2018年度には697名もの学生を下記の国・地域へ派遣することに繋がりました。

海外派遣学生数（2018年度）



➔「日本人学生の留学比率」が国立大学5位 (THE世界大学ランキング日本版2018より)

感謝のことば

留学生支援

2018年度若松留学生会会長
大学院生命体工学研究科 生命体工学専攻 博士後期課程2年
HISHAM FARRAG (ヒシャム ファラッグ)

私は、博士後期課程に入学した2017年10月からの半年間と、2018年度の1年間九州工業大学基金奨学金を受給しました。大変光栄なことであり、深く感謝いたします。

この奨学金は私にとって重要で、大学院修了にかかる経済的負担を心配することなく、研究に打ち込むためのモチベーションとなりました。また、研究成果を得るためにも大きな影響を与えました。研究活動は将来のキャリアを築くためにとても重要なものですが、人生のあらゆるものと同様経費がかかるものです。

日本は世界の中で最も美しい国の一つであるだけでなく、大学院教育制度もトップクラスの一つです。私は大学卒業後、日本にある一流の研究機関で研究を続けることが夢でしたが、九州工業大学を選んでよかったです。学生の目標達成を後押しすることは最高の投資の一つであり、卓越した文明社会を築くための唯一の方法です。この奨学金による支援なしに私は研究を続けられなかったと思います。この機会を与えてくださり心より御礼申し上げます。



博士後期課程社会人支援

大学院生命体工学研究科 生命体工学専攻
博士後期課程1年
服部 祐一

大学院博士後期課程社会人学生奨学事業に採択させていただき深く御礼申し上げます。

私は、九州工業大学工学府の博士後期課程を中途退学した後に、IT関連のベンチャー企業でWebサービスの開発・セキュリティ対策などを経験し、その後、30歳になった2017年に研究開発と情報セキュリティの会社を立ち上げ、技術にも精通した経営者ということを目標に事業を進めてきました。

そこで、目標とする技術にも精通した経営者の一歩として博士号を取得することを決意し、社会人学生として九州工業大学に入学しました。また、快く受け入れてくださった井上創造先生には感謝しております。

今後は博士号取得に向け研究活動を続け、得た知識や技術を社会全体のために活用していく所存です。

奨学事業のおかげで経済的な負担も軽減されましたのでご支援に非常に感謝しております。

最後に、ご支援いただいております九州工業大学のOB・OGや企業の方々へ心より深く感謝申し上げます。



学生サークルへの支援

少林寺拳法部第55代主将 工学部電気電子工学科3年
川口 愛優海

この度は2018年度九州工業大学基金として活動支援費をご寄附いただき、誠にありがとうございます。少林寺拳法部は現在15名の部員たちが、大会出場に向け日々練習に励んでいます。OBの方々から受け継いだ道具を大切に修理しながら使用していましたが、今回のご支援により新たな練習道具を購入することができました。大会では今まで以上に良い成績を残せるよう、部員一丸となってこれからも練習に励み、さらなる進歩を目指して日々精進していく所存です。本年は少林寺拳法部創部55周年を迎え、11月には記念式典を開催いたします。今後とも、ご支援、ご鞭撻を賜りますよう切にお願い申し上げます、お礼の言葉とさせていただきます。



留学生交流事業への支援

九州工業大学基金では、本学留学生のため様々な活動を支援しています。2018年度は下記のとおり支援を行いました。

◆ 留学生歓送迎会

◆ 留学生会活動支援

◆ 留学生フェスティバル出店支援

◆ 国際友好の夕べ

留学生会活動支援 ～異文化交流イベント報告～

生命体工学研究科の留学生会では、全3回の異文化交流イベントを開催しました。第1回はイタリア、第2回はエジプト、第3回はインド、と毎回テーマとなる国を決め、その国の留学生が中心となって文化や歴史、食べ物などを紹介しました。また発表の後には、準備したその国の料理やデザートなどを囲んで実際に味を確かめながら交流を楽しんでいました。



エジプトの回で日本のお祭りについて紹介する日本人学生

この会は、留学生同士が交流するためだけのものではなく、日本人学生や教員、研究者も参加しています。留学生は、日本をはじめ自分の母国以外の国について学ぶことができ、日本人学生は、英語で日本の文化や食べ物などを紹介し、様々な国の留学生と交流することで、それぞれが異なる文化を体験し、理解を深めることができたイベントとなりました。



母国イタリアを紹介する留学生とイタリアの味



戸畑キャンパスでアフリカの料理をふるまうナイジェリアの留学生

ルの料理やスイーツなどが店頭並びました。留学生は日本語で「〇〇いかがですか。おいしいですよ」などと話しかけ、行き交う人たちもおいしそうな匂いや珍しい料理に立ち止まっていました。留学生が地域の方々と交流する機会はなかなかなく、日本語でのコミュニケーションや異文化理解のためにも大変貴重な機会となっています。

留学生フェスティバル ～工大祭模擬店出店報告～

本学では毎年、戸畑と飯塚キャンパスの工大祭開催に合わせて、留学生フェスティバルと題し、留学生が出身国や地域ごとにその料理やお菓子などの模擬店を出店しています。2018年度は九州工業大学基金から出店費用を支援していただき、戸畑キャンパスは6か国、飯塚キャンパスは3か国の模擬店を出店することができました。

留学生の模擬店は、学内だけでなく地域の方々にも楽しみにしていただいています。今回は、お馴染みの中国や韓国、東南アジアの料理のほかにも、普段なかなか味わえないアフリカやブラジ



ブラジル、バングラデシュ、中国の料理が並ぶ飯塚キャンパスの模擬店

国際友好の夕べ

毎年12月に開催する「九州工業大学国際友好の夕べ」では、本学の留学生や外国人研究者の学業・生活支援において様々なご支援をいただいている団体や個人ボランティアの方々をお招きして、日頃の感謝を伝えるとともに、交流を深めていただいています。



フィリピンとフランスの留学生によるバンド演奏

2018年度は12月5日(水)に飯塚キャンパスのラーニングアゴラにて開催し、3キャンパスの留学生及び外国人研究者をはじめ支援団体の方々など学内外から200名を超える参加者がありました。

飯塚キャンパス留学生会会長のブラジル人留学生が流暢な日本語と英語で司会を務め、各キャンパスを代表して4組の留学生がバンド演奏や母国の歌、伝統舞踊を披露しました。パフォーマンスが終わると、盛り上がった留学生たちが次々と自国の曲などをかけて踊りだし、来賓の方や職員も巻き込んで踊りの輪が広がり会場は熱気に包まれていました。



参加者全員で記念撮影

ご寄附をいただいた皆様 《芳名録》 (2018年4月～2019年3月末)

ここに、ご寄附いただいた皆様のご芳名を掲載させていただき、心より感謝の意を表します。

(氏名のご公表を希望されない方は、匿名にて表示しております。)

個人の方

青木 文子様	上田 恒彦様	川上 幸雄様	瀬戸 利秀様	中谷 嘉克様	早瀬 修二様	宮部 圭介様
秋野 隆仁様	植村 操様	岸川 修治様	芹川 聖一様	中西 巧様	匹田 政幸様	宮松 ひろみ様
安部 一芳様	浮田 大樹様	喜多村 耕資様	高瀬 康様	永松 潤二様	平位 隆二様	森島 秀喜様
阿部 信夫様	占部 宏成様	蔵本 正彦様	高橋 清様	永松 靖子様	福島 裕充様	安河内 恵子様
阿萬 裕久様	江藤 和正様	合谷 一成様	高見 法生様	中村 弘様	藤田 由美子様	安永 卓生様
家吉 保夫様	尾家 祐二様	後藤 厚様	武内 紀陽様	中村 政雄様	藤原 麻干子様	安本 善衛様
池田 忠夫様	大田 真彦様	近藤 貴寿様	辰巳 博之様	中山 明紀様	許 宗焄様	矢野 芳穂様
池田 利夫様	大鶴 英嗣様	税田 文三様	田中 孝夫様	長山 暁子様	星野 元樹様	山口 富子様
諫山 知明様	大庭 信博様	齋藤 武美様	田淵 俊英様	那須 純次様	本田 逸夫様	山田 稔様
石井 弘明様	大瀆 司志様	坂口 和代様	田村 敦子様	新見 道治様	本田 達穂様	山出 崇様
石川 眞澄様	大村 孝昭様	坂本 寛様	田村 裕民様	西尾 一政様	馬 廷麗様	山中 秀三様
石橋 一郎様	岡本 卓様	崎浜 和久様	塚本 忠之様	西野 和典様	前田 浩之様	遊佐 幸彦様
石丸 祐司様	小川 健夫様	柴田 智広様	鶴田 隆治様	野田 尚昭様	松浦 文明様	百合野めぐみ様
市来 知幸様	小田 佳子様	島田 敦子様	出口 博之様	野俣 勝彦様	松岡 直哉様	吉田 隆一様
伊東 和俊様	小田部 荘司様	章 宏様	徳田 克也様	野村 育洋様	松崎 泰憲様	吉田 宏彦様
井上 淳司様	尾仲 武基様	菅谷 健様	徳元 秀雄様	橋本 親典様	松永 守央様	米本 浩一様
井上 真吾様	温 暁青様	杉山 正見様	富田 達也様	長谷部 浩一様	三浦 正治様	若林 澄治様
今井 克徳様	梶原 誠司様	鈴木 哲也様	中川 峯雄様	花本 剛士様	嶺 勝敏様	渡邊 浩司様
植木 幹様	片岡 秀司様	瀬々 教道様	中嶋 義明様	林 満雄様	宮川 邦彦様	匿名の方 72名様

法人・団体の方

iCAD株式会社 様	株式会社コマス 様	日販コンピュータテクノロジー株式会社 (現日販テック株式会社) 様
アイシン・コムクルーズ株式会社 様	株式会社佐電工 様	日本コンピュータ株式会社 様
株式会社iD 様	JRCS株式会社 様	日本電管株式会社 様
株式会社アルトナー 様	ジャパニクス株式会社 様	八光オートメーション株式会社 様
一般社団法人飯塚友情ネットワーク 様	伸和コントロールズ株式会社 様	不二輸送機工業株式会社 様
AKMテクノロジー株式会社 様	水道機工株式会社 様	株式会社朋栄 様
株式会社エジソン 様	ゼネラルエンジニアリング株式会社 様	株式会社安川電機 様
株式会社オネスト 様	株式会社ソフトウエア・サイエンス 様	ライト工業株式会社 様
有限会社上吉川工業 様	株式会社千鳥屋本家 様	ワイジェイカード株式会社 様
北九州ソフタクラブ 様	株式会社テクノス 様	匿名の法人・団体 6団体様
九州工業大学外国人留学生等後援会 様	戸畑活性化協議会 様	
株式会社九州デン 様	西日本コンピュータ株式会社 (現株式会社ニシコン) 様	
株式会社熊平製作所 様	株式会社ニチワ 様	

(掲載は五十音順)

クラウドファンディングへのご支援のお願い

寄附金獲得による研究の活性化や学生の部活動の支援を目的として、2019年5月からこれまでに2件のクラウドファンディングを実施しております。今後も多くのプロジェクトを公開して参りますので、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

募集中 九工大から宇宙へ!超小型人工衛星「ふたば」!!

寄附型 開発した人工衛星打上げ費用への支援を募集

実施期間 2019年8月23日(金)～11月21日(木)23時

目標金額 100万円



九工大の挑戦!学生フォーミュラ日本大会での上位入賞を目指して

寄附型 フォーミュラ用軽量ホイールの購入費、試走会遠征費への支援を募集

実施期間 募集終了(成立)

目標金額 50万円



ご浄財は、九州工業大学・明専会「学生プロジェクト」への支援に活用しております。

学生プロジェクトとは、学生が主体的に課題探究に取り組むことによって、解決能力、工学基礎力と共に、コミュニケーション能力及び幅広い教養を身につけ、企業や社会において先導的リーダーシップを発揮することのできる創造的人材の育成を目的としたプロジェクトです。



学生プロジェクト

<https://www.kyutech.ac.jp/campuslife/project.html>

お問い合わせ先

九州工業大学基金事務局

〒804-8550 福岡県北九州市戸畑区仙水町1-1

TEL:093-884-3004 FAX:093-884-3015

E-mail:kikin@jimukyutech.ac.jp



九州工業大学基金

<https://www.kyutech.ac.jp/fund/>